

神根中だより

～自他共に認め合い学び合う
夢と笑顔と潤いのある学校～
令和7年10月号

学校教育目標
主体的に学び合い
心豊かで たくましい生徒



川口市立神根^{かみね}中学校

〒333-0823 埼玉県川口市石神1515-1
電話 (048) 296-7025

スポーツの秋 スポーツの日

校長 寺田 和成

日中はまだまだ暑い日が続いていますが、早いもので10月、暦の上ではすでに秋を迎えています。秋という季節は、暑さも一段落して過ごしやすく、集中して物事に取り組んだり、様々なことに挑戦したりするのに最適なため、何かとよく“スポーツの秋”“読書の秋”“芸術の秋”などと言われています。

そのような中、先月19日より陸上競技を皮切りに、運動部の市民体育祭（新人戦）が行われました。大会に先立ち行われた「壮行会」では、新部長より力強い決意が述べられ、各運動部の意気込みが伝わってきました。また、それを見守る3年生の視線がとても温かく、後輩たちに託し、応援していこうという気持ちが伝わってきて、とても嬉しく思いました。2年生中心の新体制になってから初の公式戦となりましたが、この暑い夏を仲間と共に乗り越え、鍛えてきた技術や力を存分に発揮し、全力でプレーする姿は本当に頼もしく感じました。

今月11日（土）には本校の第46回体育祭が行われます。市民体育祭から引き続き、まさに“スポーツの秋”到来といったところです。「勇猛果敢～超えろ 神壁～」のスローガンのもと、5色の各団が一致団結し、ご来場の皆様にも笑顔と感動をお届けできるのではないかと思います。また、取り組む過程の中で、仲間との協力や最後まであきらめない気持ち、やり遂げたという達成感など、生徒たちも大切なものをたくさん得られるはずです。こうした行事を通して、仲間と共に学び、多くのことを経験し、大きく成長して欲しいと願っています。

さて、大人には馴染みのあった10月の祝日「体育の日」が、2020年から「スポーツの日」に名称が変わりました。スポーツを楽しむ他者を尊重する、健康で活力ある社会を実現する、スポーツを通じて世界各国と協調していく、などといった様々な観点から、学校教育としてのイメージの強い「体育」という言葉を「スポーツ」に改める、ということになったからだそうです。つまり、教育的に身体を発達させるという発想から、身体を動かして楽しもう、楽しんで健康づくりをしていこうというスタンスに変わってきたということです。

また、スポーツは「する」だけではなく、「みる」「ささえる」ことも含めて日常生活の一部であり、あらゆる人の人生に活力や感動を与えてくれるものとして、スポーツを文化として捉えていこうという機運が高まってきています。

そもそもスポーツの語源は、ラテン語の「deportare」（デポルターレ）という言葉で、もともとの「運ぶ」という意から、精神的な移動を示す「気分転換」という意味合いが生まれ、それが日々の生活から離れた「気晴らしや遊び、楽しみ」を指すようになったと言われています。つまり、人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにする、これがスポーツの本質だということです。より楽しむために勝利を追求するもよし、自分のペースで楽しむもよし、スポーツは誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、自由にサポートし、楽しめるものであるべきなのです。子供たちの外遊びが減っているとされる現在、「身体を動かすのって楽しい！」と思える体験や実感こそ、この時期に大切にすべきものだと考えます。学校や家庭、地域で、スポーツの楽しさを心から味わえる機会をたくさんつくってあげたい、そう思っています。